

# *Ibaraki Music Academy*

茨城音楽文化振興会 第14回演奏会

**“思いを込めて，想いを越えて”**

～ 創設者 柴沼仁氏を偲び感謝を込めて開催する演奏会 ～

**2017.1.14 (土)**

茨城県総合福祉会館 1階ホール

○飛田 紗智恵 & 小野 智恵 ピアノ連弾

・バッハ / 主よ 人の望みの喜よ

この曲には、バッハ作曲の教会カンタータ「心と口と行いと生活で」の中の第6曲と第10曲のコーラルが登場します。教会カンタータとある通り、もともとは合唱がメインの讃美歌（コーラル）の曲を、本日はピアノDuoにアレンジしてお届け致します。

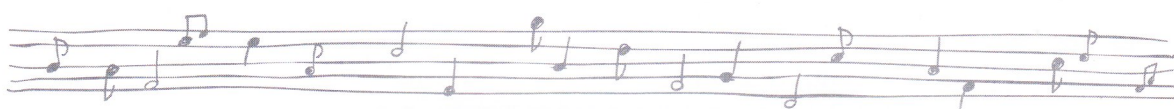
まるで、神に通じる道を満ち足りた気分が進む、崇高な精神が漂う1曲です。

・ローゼンブラット / 2つのロシアの主題によるコンチェルティーノ

この作品は、日本で開催されたピアノデュオ作品による作曲コンクールにおいて、特別賞・毎日新聞社賞を受賞したときの作品です。

この曲には、ロシアの民謡「カリンカ」と「モスクワの夜」のメロディをテーマとして変奏を加えながら、作られています。

この2つの主題は、ジャズ風なリズムやハーモニーに加え、ロマンティックな趣向と圧倒的なリズム感で、観客を聞くだけではなく、見て楽しませてくれる作品です。日本国内においては、「二人羽織」と俗称され、2人が重なりあって演奏されるエンターティメント性が要求されます。



## 第2部 演奏曲の解説

○橋本 愛 ピアノ〈学生演奏☆〉

・ブラームス / スケルツォ 変ホ短調

ブラームスが18歳のときに作曲した、唯一の独立したスケルツォです。

彼が作曲活動に力を入れ始めた頃の初期のピアノ作品で、生前に出版された作品の中では第1作目にあたります。この曲の第1主題や中間部はショパンのスケルツォに似ていると言われていますが、ブラームスらしい激しい情熱をもち、それでいて気品を失わない美しい旋律や豊かな和声が見られます。後期の作品のような奥深い味わいのものではないですが、彼の若々しさがあふれている作品です。

○箕輪 美希 フルート（伴奏:塙光帆）〈学生演奏☆〉

・ベーム / シューベルトの主題によるファンタジー Op.21

ベームは、近代フルートを完成させたドイツの発明家、音楽家です。ベームの従来作品では、フルートに一番基本的な二長調を中心として作曲されていますが、ベーム式フルートを完成させて作曲されたこの曲では、自在な転調が行われており、ベームの作曲の発想に、従来フルートでは不可能なことに挑戦しようとする野心がみられます。フルートの表現の鮮やかさが発揮されており、繊細な味わいとスケールの大きさを持った音楽、美しく歌うような音楽、優雅な曲想、さまざまな音楽と華麗なフルートの表現をどうぞお楽しみください。